



連合愛知

- ・労災の防止
- ・快適な職場
- ・心身の健康

# センターだより

愛知県労働者安全衛生研究センター  
〒456-0002  
名古屋市熱田区金山町1丁目14-18  
ワークライフプラザあら3F  
TEL(052) 684-0003  
FAX(052) 684-0303  
連合愛知ホームページからも閲覧できます  
<http://www.rengeo-aichi.or.jp>

## 愛知機械工業(株)熱田工場で職場パトロールを実施

### ～第3回理事会・理事研修～

7月10日、愛知機械工業(株)熱田工場様の会議室において「第3回理事会」を開催し、理事研修として同工場での職場パトロールを実施した。

理事会の冒頭、持田理事長から「昨年熱中症で救急搬送された人は全国で50,412人、愛知県で2,886人おり、全国で59もの方がお亡くなりになっている。働く上の環境が厳しさを増す中、労働組合としても、熱中症を防ぐ取り組みをぜひともお願いしたい。また、会議終了後には、愛知機械工業(株)熱田工場様のご協力により、理事研修として職場パトロールを実施する。パトロール時のポイントや視点などをしっかり学習して、それぞれの組織・組合でご活用いただきたい」とあいさつがあった。

理事会の主な内容は次のとおりである。

4～6月の活動報告の後、確認事項①理事の交代 ②平成29年度労働保険年度更新のまとめ ③当面の日程について、提案・確認した。

#### ◇理事の交代

構成組織	新理事	旧理事
J P 労組	松本 賢明	中澤 政美

議事については、①「第2回安全衛生担当者研修会」の開催 ②「職場の健康づくり指導者セミナー」(愛知県健康づくり振興事業団主催)への参画 ③「全国産業安全衛生大会」(中央労働災害防止協会主催)への対応 ④社会保険労務士事務所との委託契約報酬額の変更 ⑤「第4回理事会」の開催について提案し、すべて承認された。

特に、10月1日～7日の全国労働衛生週間に向けた取り組みとして開催する安全衛生担当者研修会については、「働き方改革実行計画」の論点の一つでもある治療と職業生活の両立支援や、転倒予防を目的とした職場体操の先進的な取り組み、実証実験に基づいた歩きスマホの危険性など、大いに参考となる内容になっているので、ぜひ参加してほしい(右囲み)。

## 安全衛生クイズ

### 基 本 編 4

定期健康診断の労働基準監督署への結果報告。必要となるのは、労働者数【 】人以上の事業場。

- ア. 10
- イ. 50
- ウ. 100

(労働調査会「労働安全衛生広報(別冊)」より)  
※答えと解説は裏面



理事会終了後、労働安全コンサルタントの三矢弘二氏を講師に迎え、職場パトロールを実施した。パトロールを前に、三矢氏から「パトロールは働く人の安全衛生を確保することが目的で、職場のあら探しをするものではない。パトロール員の発見能力が高まれば企業の災害予防レベルが向上する。危険を危険と感じる感受性を磨くために、見る巡視だけでなく、考える巡思を意識して」などの説明を受け、チェックシートを活用したパトロールを実施した。

パトロール後は、グループごとに危険源と改善点を発表しあい、講師のアドバイスと講評を受けた。事前にパトロールの視点を学んだことで多くの気づきがあり、全体で深め合うことができた。今回得られたことを職場に持ち帰って、活動に大いに活かしてほしい。



▶右上から佐々木理事・中山理事・郡山理事

### 連合愛知安全衛生センター 第2回安全衛生担当者研修会

日 時：9月22日（金）13:30～17:00

場 所：れあろ6階大会議室

#### 研修内容

- ①「治療と仕事の両立支援」(仮称)  
一般社団法人 仕事と治療の両立支援ネット  
ブリッジ代表 服部 文 氏
- ②「JFEスチールの転倒予防体操の取り組み」  
JFEスチール西日本製鉄所倉敷安全衛生室  
ヘルスサポートセンター 乍 智之 氏
- ③「歩きスマホの危険性」(仮称)  
愛知工科大学  
名誉教授・特任教授 小塚 一宏 氏

※構成組織へ参加要請あり

(続き)

翌日の7月11日には、希望者のみの理事研修として、あいち健康プラザにおいて、自分自身の健康を再認識していただくため、健康度評価（簡易コース）を受けていただいた。体力測定のなかで、思ったより息があがって体力の限界を感じるなど、自分の体力を再認識する良い機会となった。

最後に保健師から、健康度評価結果表の具体的な読み方と健康づくりのための情報提供などがあった。

今回の研修では、最も簡単な簡易コースを体験したが、健康プラザでは「日帰りコース」「1泊2日コース」など、様々な健康づくり教室が選択できるので、それぞれの組合で活用いただきたい。また、医療・食・運動に関するセミナー等を企画される場合、健康プラザの専門スタッフが、講師派遣に応じてもらえるので、お困りの際は、安全衛生センターにご相談ください。



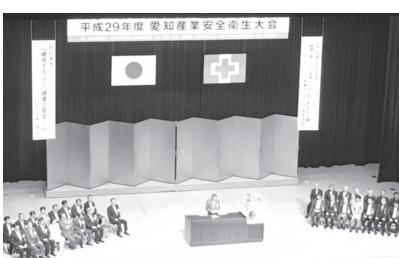
健康度評価簡易コース

## 平成29年度愛知産業安全衛生大会に参加

7月5日、日本特殊陶業市民会館で「平成29年度愛知産業安全衛生大会」が開催された。全体で1,340名が参加し、連合愛知からは理事9名が参加した。

本年度の全国安全週間のスローガン「組織で進める安全管理 みんなで取り組む安全活動 未来へつなげよう安全文化」のもと、労使一体で労災防止に努め、第12次労働災害防止推進計画の目標達成に向けて全力で邁進することを誓う大会宣言が満場一致の拍手をもって採択された。

その後、愛知労働局小城労働基準部長から「労働安全衛生行政の動向」について基調講演があり、「今年に入って死亡災害・死傷災害とも前年同時期より増加していることか



ら、災害増加を減少に転じる取り組みが目下の課題である」との説明があった。また、基本的な安全確認や安全措置を怠ったことが主な発生原因と考えられる

死亡災害が多発していることから、労災防止活動の取り組み強化について要請があった。

次に、株式会社デンソーハイテクノロジーズの占部安全衛生環境課長から、安全衛生環境基本理念のもと、全員参加で社内安全基準を守るマネジメントシステムについて事例発表があった。昭和44年に工場で起きた爆発事故で12人が重軽傷を負った経験を教訓に、「働くことによって生命を失うことはもとより、健康・身体機能を損なうことがあってはならない」という強い姿勢が伺われた。

続いて、公益社団法人 全国労働衛生団体連合会の原山業務部長から、平成28年に実施した約83万件のストレスチェックのデータ分析結果について報告があった。その中で、ストレスチェック制度の導入から1年が経過し、一定の問題点や課題が浮かび上がってきており、特に「外国人労働者への対応」「個人情報保護との関係で事業場に提出するデータの作成範囲」「事業場産業医を共同実施者にすること」などが今後の課題としてあげられたとの話があった。

大会の最後は、元プロ野球選手でスポーツコメンテーターの山本昌氏から、「継続する心～健康と安全～」と題して講演があり、向上心を持って継続してきたことが結果を残すことにつながった野球人生を、時々笑いを交えながら重みのある言葉で語り、大会を締めくくった。

皆さんへ、ご注意とお願い

### 熱中症予防のために

こまめに水分を補給してください

室内でも、外出時でも、どの渴きを感じなくとも、こまめに水分・塩分、経口補水液※などを補給しましょう。

※ 経口補水液とは、食塩とブドウ糖を溶かしたものをおいいます。

暑さを避けてください

できるだけ風通しのよい日陰など、涼しい場所で過ごしましょう。

以下の症状にお気をつけください。

熱中症の症状】めまい、立ちくらみ、手足のしびれ、筋肉のごむら返り、気分が悪い、頭痛、吐き気、嘔吐(おうと)、倦怠感、虚脱感、いつもと様子が違う

【重症になると】返事がおかしい、意識消失、けいれん、からだが熱い

熱中症が疑われる人を見かけたら

涼しい場所へ 風通しのよい日陰など、涼しい場所へ

からだを冷やす 衣服をゆるめ、からだを冷やす(首回り、脇の下、足の付け根など)

水分補給 水分・塩分、経口補水液などを補給する

自力で水が飲めない、意識がない場合は、すぐに救急車を！

「熱中症」は、高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。屋外だけでなく室内で何もしていないときでも発症し、救急搬送されたり、場合によっては死亡することもあります。

詳しくは、厚生労働省ホームページ「熱中症に関する情報」をご覧ください。

厚生労働省 热中症 検索

### 安全衛生クイズ基本編 ④

【答え】イ

<労働安全衛生規則第52条>

定期健康診断は1年以内ごとに1回行う必要があります。常時50人以上の労働者を使用する事業者が第44条、第45条または第48条の健康診断(定期)を行ったときは、「定期健康診断結果報告書」を所轄の労働基準監督署長に遅滞なく提出する必要があります。